

Housing Market News

2021 vol.4

3|19 ▶ 4|15

東京ガス株式会社
営業第二事業部<http://biz.tokyo-gas.co.jp>今月の
トピック解説

TOPIC

住宅の光熱費表示を取りまとめ 22年4月導入開始

国土交通省は、「住宅の省エネ性能の光熱費表示検討委員会」を開催。住まい探しの際に、多くの消費者がアクセスする住宅情報提供サイトなどで、省エネ性能を実費換算し表示する「目安光熱費表示」の取りまとめ案を公表した。

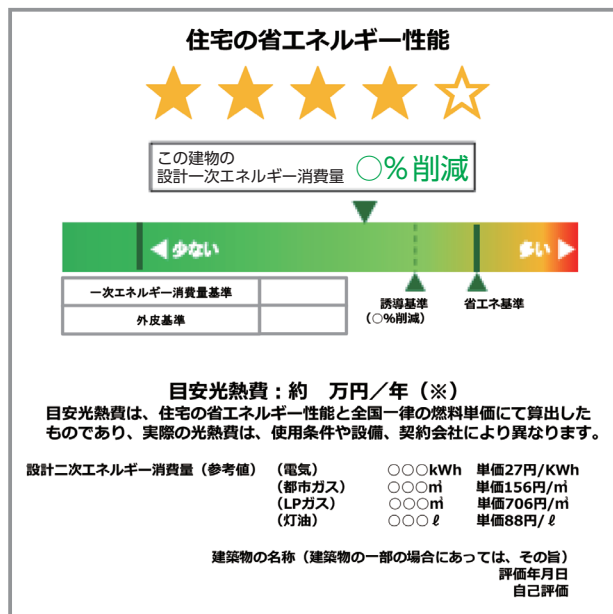
目安光熱費表示の目的は、消費者の省エネ性能に対する関心を高め、より高い省エネ性能の住宅が選択されるようにすること。住宅情報提供サイトなどにおいて、省エネ性能から算出した目安光熱費を表示することにより、効果的・効率的に省エネ誘導を図る。

目安光熱費表示の対象とする住宅は、新築分譲住宅及び新築賃貸住宅。目安光熱費の根拠となる事項の表記内容（ラベル表記）は、①目安光熱費（年額）、②燃料別の設計二次エネルギー消費量、③燃料別の燃料単価、④目安光熱費に関する注記の4つ。ラベル表示の内容については、建築物のエネルギー消費性能の表示に関する指針の告示に位置付ける予定。

目安光熱費の算出には、住宅のエネルギー消費性能計算プログラム（通称：WEBプロ）を活用する。建築物省エネ法に基づく設計一次エネルギー消費量をWEBプロにより算出する過程で得られる設計二次エネルギー消費量に燃料毎の設定単価（燃料単価）を乗じて算出。燃料単価の設定及び改定は、経済産業省資源エネルギー庁の小売事業者表示制度との整合をとる。

表示位置などは各サイトの判断
多段階評価の★の併記は必須

住宅情報提供サイトによって画面体裁が異なることなどから、具体的な表示位置などは各媒体の判断に委ねるが、目安光熱費を表示する場合は、以下を原則とする。
①目安光熱費（年額）は多段階評価（★）併記し、専用の入力項目を設ける（備考欄などの自由記述欄への記載事項とはしない）。②入力情報がない場合は「-」表示と

詳細ページ等に掲載する
目安光熱費のラベルのイメージ

する。③目安光熱費を表示する場合は、全て年額表示とする。④目安光熱費の解説ページについて、サイト訪問者が容易に認識できるように解説ページを設ける。⑤目安光熱費には反映されない住宅の省エネ性能に関連する情報（ZEH、太陽光発電、エネファーム、オール電化等）のアピールについては、物件詳細ページにて個別のPRとして掲載する。

2021年4月～9月までの期間で、表示に関する指針の告示を改正し、WEBプロの改修なども実施する。並行して業界啓蒙活動を2021年4月から開始し、売買、賃貸それぞれの住宅情報提供サイトの改修など、導入準備を進める。2022年4月から、新築マンション、新築戸建て、表示目安光熱費表示導入をスタート。10月以降に新築賃貸での導入をスタートする予定。既存住宅の取扱いについては、新築住宅の実施状況をふまえつつ検討する。

NEWS

今月の主なニュース

3|19

4|15

- ▶国土交通省 新たな「住生活基本計画」が閣議決定 新たな日常や豪雨災害等に対応した施策の方向性を記載
- ▶トヨタホーム 戸建て住宅「Since Smart Stage+」を発売
- ▶パナソニック ライフソリューションズ社 どこでもライフバッテリー「e-block(イーブロック)」を発売
- ▶パナソニック 戸建用の本州寒冷地向け家庭用燃料電池「エネファーム」新製品を発売
- ▶積水ハウス 次世代室内環境システム「スマートイクス」3.5カ月で受注1000棟達成
- ▶積水化学工業 セキスイハイム誕生50周年記念商品のシリーズ第2弾は賃貸住宅